

---

# 地球温暖化問題について

平成17年10月17日  
環境省 地球環境局

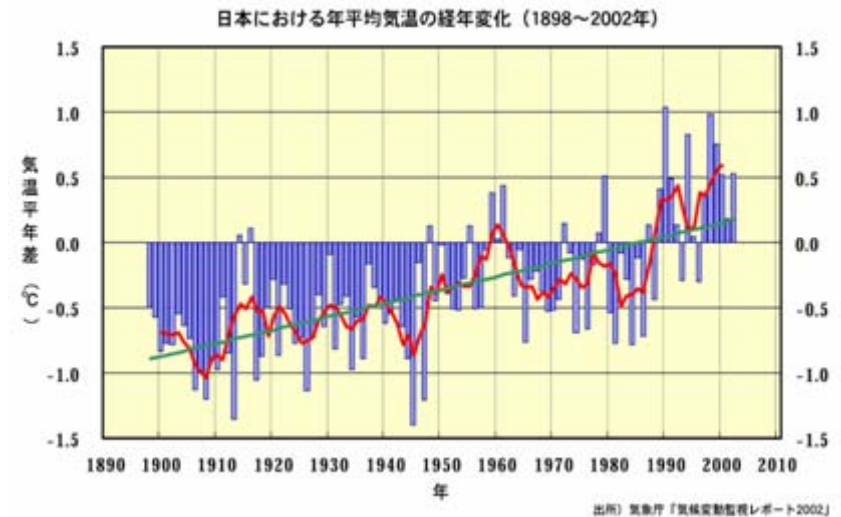
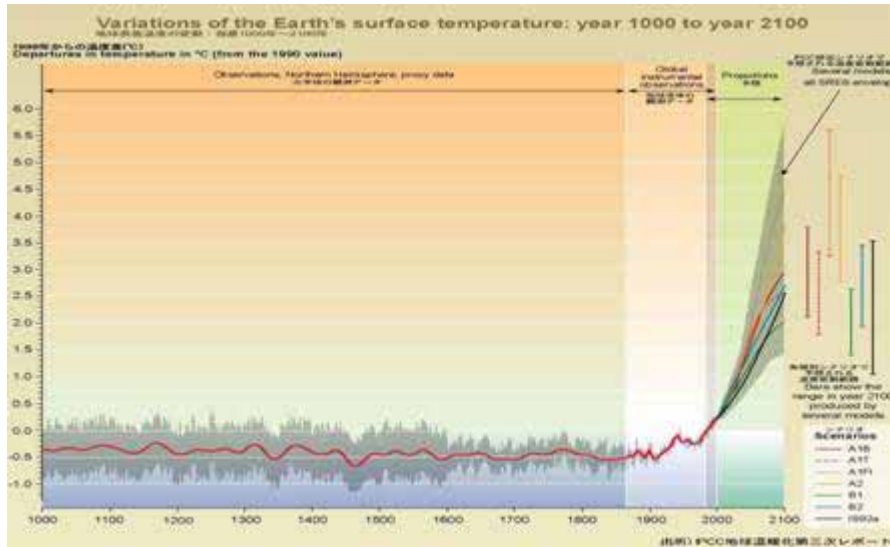


みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

# 産業革命以降、地球全体が急激に熱くなっている

- 20世紀中の気温上昇(0.6 )は、過去1,000年のどの世紀にも見られないほど急激であり、異常であった
- この傾向は、今も続いており、**21世紀末には、地球の平均気温がさらに1.4 ~ 5.8 上昇すると予測されている**



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

# 世界各地でさまざまな異常気象も頻発している

## • 南極半島の棚氷の崩壊

ラーセン棚氷のうち、1995年に1,300km<sup>2</sup>、1998年に300km<sup>2</sup>、2002年に3,250km<sup>2</sup>が崩壊



## • 森林火災の頻発

2003年、世界各地で森林火災が発生し、ポルトガルでは、全森林の約8%(4,170km<sup>2</sup>)が焼失



## • 欧州、アメリカの自然災害の頻発

2003年夏、欧州各地が熱波に襲われ、フランスでは約15,000人が死亡

2005年夏、アメリカが熱波やハリケーンに襲われ、甚大な人的被害が発生するとともに、港湾機能が麻痺する、原油価格が高騰するなど経済的影響も深刻



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

# 異常気象による被害額、保険支払額が増大している

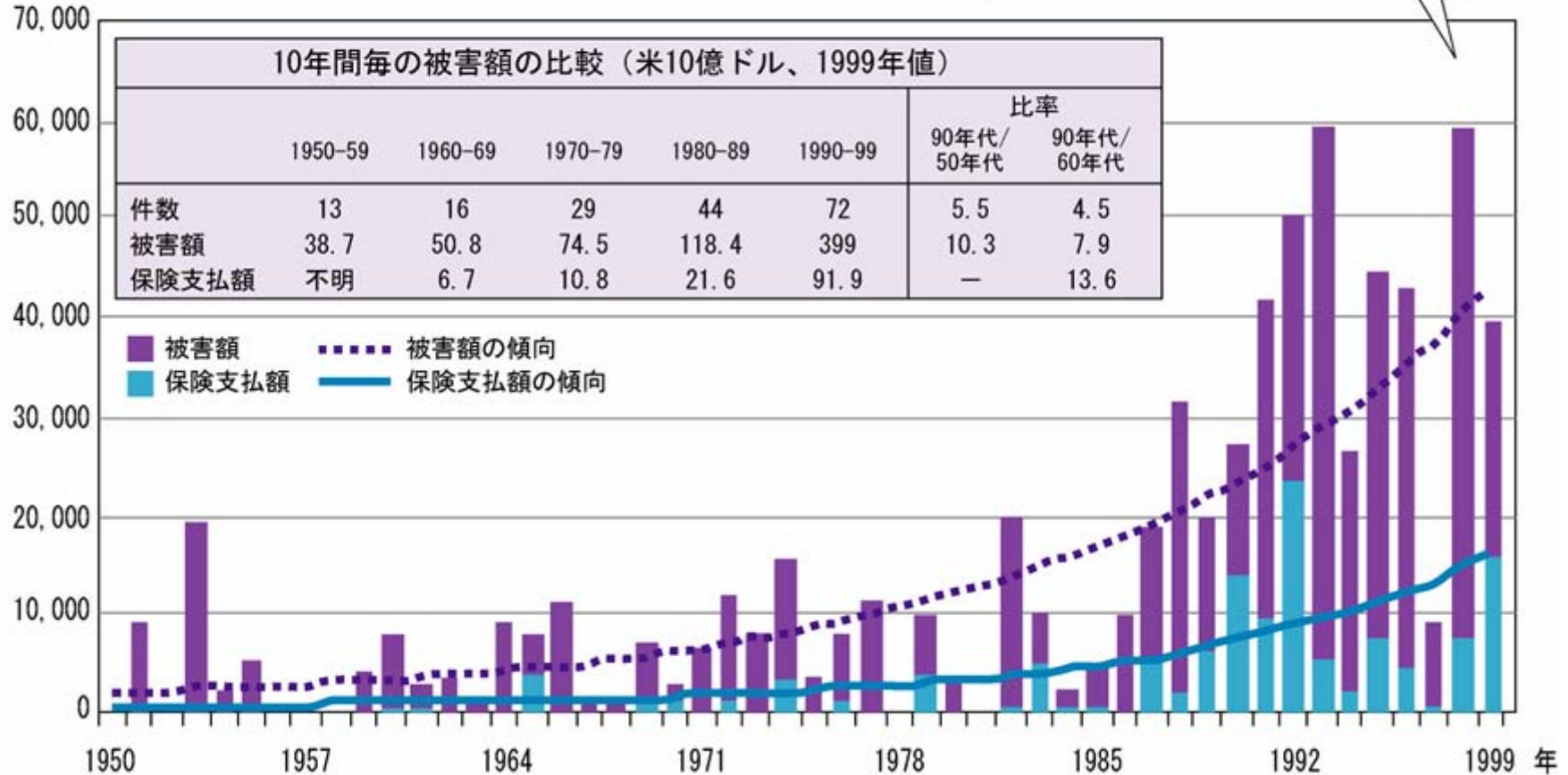
被害額は近年、急増している

(百万米ドル)

10年間毎の被害額の比較 (米10億ドル、1999年値)

	1950-59	1960-69	1970-79	1980-89	1990-99	比率	
						90年代/ 50年代	90年代/ 60年代
件数	13	16	29	44	72	5.5	4.5
被害額	38.7	50.8	74.5	118.4	399	10.3	7.9
保険支払額	不明	6.7	10.8	21.6	91.9	—	13.6

被害額



(IPCC第3次評価報告書より)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

# 日本も例外でない

- **猛暑**

昨年、東京、大阪で**史上最多の真夏日**(東京で70日、大阪で90日)を記録

東京の昨年6月～8月の平均気温は26.5  
(平年よりも1.7 高い)



- **台風**

昨年、史上最多の**10個**が日本上陸

- **集中豪雨(スコール)**

昨年7月に新潟と福井で集中豪雨  
日常的となりつつある夏のスコール、雷



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



# 自然環境だけでなく、人間社会も大きな影響を被る

## 気候の変化

冬：大陸からの寒気の吹き出しが弱まる

夏：モンスーンが強まる

## 海面の上昇

・水深が深くなり、波が大きくなる

・海水面が上昇して沿岸の形を変化させる

## 自然環境への影響

### 自然生態系

・森林：植生分布が南方系に変化したり、一部の種が絶滅する

・草地：自然草原の分布や種が変わる

### 沿岸域

・水没したり、浸食される面積が増える

・1mの海面上昇で90%の砂浜がなくなる

### 水資源

・雨の量が増え、川の流量が大きく変化する

## 人間社会への影響

### 農林水産業

・農業：米の収穫量は北日本で増え、西日本で減る

・水産業：サケ等の生息域の南限が北上する

### 産業・エネルギー

・沿岸域などの観光資源が被害を受ける

・エネルギー需要が増える

### 国土保全

・台風の被害が増える

### 健康

・熱中症が増える



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%